

## 令和元年度第1回日之影町総合教育会議

日 時：令和元年9月27日（金）

午後3時30分～

場 所：日之影町中央研修館

### 〈 会 次 第 〉

#### 1 開 会

#### 2 町長あいさつ

#### 3 教育長あいさつ

#### 4 協議事項

（1）全国学力・学習状況調査の結果について

（2）中学生海外交流派遣事業の実施について

（3）岡山県等教育視察について

（4）八戸小学校の統廃合について

（5）その他

#### 5 閉 会

## 一 日之影町総合教育会議 議事録 一

日時：令和元年9月27日(金)15:30～

場所：日之影町福祉館

出席者：町長、副町長、総務課長、人事・給与係長  
教育長、押方委員、橋本委員、木下委員  
工藤次長、中村参事、津隈係長、佐藤係長、川添指導主事

(進行：総務課長)

町長挨拶 略

教育長挨拶 略

協議事項

### 1) 令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

教育長：小学校6年生25名、中学校3年生29名が受けた。小学生は国語科と算数科、中学生は国語科、数学科、3年に一度の英語科を受検した。町のホームページに掲載済みであるが、小学6年生の国語科は県平均及び全国平均を上回り、算数科は県平均及び全国平均と同程度である。中学校3年生の国語科は県平均及び全国平均と同程度、数学科は平均を大きく上回っている。英語科は残念ながら平均を下回っている状況である。日之影町の子ども達は、特に思考力、判断力、表現力に課題がある事が、分析結果に出ていることから「日之影学びのスタイル」の授業で各学校、力を入れている。中学3年生について、英語科は全国平均をやや下回っているが、県内では上位クラスであると思われる。問題の内容は、自分で考え英語で表現するような出題で、理解力、思考力、判断力、表現力が求められていると感じた。今までは20問以上問題数があったが、本年度は15問しか無く、1問の比重が大きく、試験内容が変わってきた。日之影町はキャリア教育及び何のための勉強であるか等打たれ強いたくましい子を育てたいと考えている。

町長：どうしたら、考えていることをスラスラと英語で表現できるようになるのか。

川添指導主事：英語には限らないが、私が日之影町に来て2年目になり感じていることが、自分で考えて意見を述べる力を高めなければいけない。日本語で考える力、英語の文法にこだわらず、単語で伝える力が必要であると感じる。

町 長：小学生の英語科が必須科目になるのはいつからであるか。

教育長：正式には来年度からであるが、現在移行期間である。3年4年生は外国語活動の授業。5年6年生は英語科になるので、以前の中学生の授業と同じであるが文法にはあまり厳しくはない。

副町長：小学校の英語の先生は、加配になるのか、中学校の先生が担当するのか

教育長：小学校の担任の先生である。日之影町はALTが居るので条件が良い。授業以外は英語を使う日等、何でも出来る状況である。試行錯誤し進めていきたい。

## 2) 中学生海外交流派遣事業の実施について

教育長：8月1日から6日まで、中学校3年生8名がシンガポールに行かせていただいた。1年、2年生からも要望があったが、シンガポールの受入人数の要望が8名であった事から、その3年生8名を派遣させていただいた。

川添指導主事：P o w e r P o i n t で活動内容の説明

川添指導主事：研修が終了する頃には、コミュニケーションがとれていたと感じたが、生徒はもっと会話能力を付け、高いコミュニケーション能力を付けたいと言っていた。相手を知ろうとする気持ちから、コミュニケーションに繋がることを学べたと感じている。

教育長：派遣事業については、今後も続けていけたら良いと考えている。また、生徒から町長や議会に対しての報告会を計画する予定である。

町 長：他の町は早くに取り組んでいた事業である。本町は、今からでも続けていかなくてはいけない事業であると思う。教育委員会も大変であると思うが、お願いしたい。

副町長：来年度からは、生徒の希望人数も増えると予想されるので、枠の確保も大変であると思う。

佐藤係長：基本、現地のホームステイ受け入れ先の人数が、派遣人数の枠になると思われるため、受け入れ先の学校単位が増えれば枠も増えるが、学校単位が減れば枠も減る。

工藤次長：12月5日から派遣した先が受入を行う事になっているので、丁寧に対応したい。

### 3) 岡山県等教育視察について

教育長：教育委員会が、岡山県、山口県に視察に行かせていただいた。岡山県の視察先は「瀬戸内市民図書館」であった。本町は2年後に図書館が出来るが、どんな準備が必要なのか、また、運営方法等を含め視察を行った。また、岡山県矢掛町教育委員会、山口市教育委員会とコミュニティスクールで全国的にも有名な所である。コミュニティスクールとは、地域が学校運営に関わるスタイルである。本町でも地域のご協力をいただいているが、予算の使い方、人事案等、学校運営等までご意見を伺うシステムで、文科省及び県もこのシステムを推奨しており、内容等を含め視察を行った。

瀬戸内市民図書館は、新しくきれいであった。規模が違うが、年間2千万円の図書の購入に予算が付いていた。また、高齢の方が平日集まり、お茶を飲んだり話をしたりと、読書をする場所になっている。また、中高生が勉強の場所として使用している。小さい子どもを連れた母親の憩いの場にもなっており、「みんなの図書館」というイメージが印象的であった。規模は違うが本町もそれぞれの世代が利用し楽しめる図書館を作りたいと強く感じた。

川添指導主事：Power Pointで説明

木下委員：学校図書活動推進委員から、瀬戸内市民図書館を視察するのであれば、写真を沢山撮ってきて欲しいと依頼された。図書館であるのに土器等が玄関ホールに展示しており、展示用の机が腰高であったり、工夫が見られ参考になるところが沢山あった。また、入口に隣接してテラスがあり、飲食が出来るスペースもあり、そこで高齢者がくつろいで新聞等を読んでいる姿、また、キッズコーナーで、小さい子どもさんと母親が絵本を読んでいる姿が印象的で、図書館という雰囲気では無く新しい空間というイメージであった。

教育長：本町の図書館も使い方等これから考えていきたいと感じた。

町長：工事を発注する時期が来るが、図書館の大きな形は変わらないが、備品の配置やスペース等、受注した業者と協議をしてほしい。

工藤次長：本町の図書館の規模や面積を頭に入れての視察であったので、イメージがわきやすかったと感じている。

町長：書架の高さや配置等は教育委員会の意見を取り入れた設計としているが、今からも意見等を出してもらい、木下委員が撮った写真を参考とさせていただき、受注業者や地域振興課の担当職員に意見を伝え、形にさせていただきたい。子どもから高齢者まで、幅広い住民が利用できる図書館であってほしい。蔵書についても、治山林道協会からいただいている50万円を充てたいと考えている。

教育長：コミュニティスクールの件についてであるが、本町では日之影小学校が一番近い取組を行っている。子どもが少ない中地域の方の協力無しでは、本町の教育現場は成り立っていかない。この件に付いては、これから情報を集め進めていきたい。

押方委員：視察で感じたことは、今現在、日之影町が行っている地域の活動と根本的なものは変わらないと感じた。人口規模や地域性も違うので人選的に違いはあると思われるが、体質は変わらないと感じる。

木下委員：日之影小学校の地域ネットワークは、団体として地域の役に立つ事を意識している。小学校とネットワークがお互いに学校に協力し地域に恩返しする構造が出来ている。総協力で町を良くしていく考え方が、まとまりを良くしていると感じる。

#### 4) 八戸小学校の統廃合について

教育長：八戸地区活性化協議会の総務部会、記念誌部会、教育部会それぞれの部会が何度も会を重ね協議をしていただいた。また、合同部会を開き、全体の進捗状況の確認や調整等を行い現在に至っている。12月議会に向け八戸小学校統廃合に関する条例の一部改正の審議をしていただくこととなる。11月17日に「八戸小を囲む会」が開催され、200名程あつまる予定である。

工藤次長：八戸地区活性化協議会の皆様には、各部会ごとに熱心に協議を重ねて戴いた。その結果11月17日には「八戸小を囲む会」を地域の皆さんが企画し、開催される。また、宮水小との統合が決定し、児童の交流授業も実施している。一例として、統合加配の活用も挙げられる。統合する先の教員が八戸小で指導を行いスムーズな統合に結びつける取組である。

町長：いろんな取組を行う中で、統合について子どもからの意見等は無いか。

総務課長：子どもの雰囲気は、宮水小学校との交流や良い雰囲気づくり等も出来ており、授業も一緒にする等、スムーズに統合できると感じている。

#### 5) その他

① 町長部局から新庁舎建設についての説明・・・地域振興課 甲斐係長

② 会計年度任用について

教育長：教育委員会は、該当の人が多いため総務課と相談しながら進めていきたい。  
給食関係やスクールサポーターを含めて委託の検討をしていきたいと考える。

③ 宮水小学校及び日之影中学校のエレベーターの改修について

教育長：現在車イスを使用している児童が居るが、現在は2階以上に上がる場合、職員が抱えて移動している。また、子ども教室はランチルームを使用しているが、給食を食べる場所で、本来であれば子ども教室はすべきではないと思う。校舎も含めエレベーターの設置の改修を考えていかなければならない。また、日之影中学校のセンターコアは、車イスで行けない作りになっている。エレベーター若しくはバリアフリーを考えなければならない。また、日之影小学校の体育館裏に外のトイレがあるが、古くて危険である。使用するのは消防出初め式の時くらいであり、どうするかを教育委員会で検討している。最後に、教育委員の山本唯仁氏が9月いっぱいで、教育委員を退任されるので報告いたします。

町 長：エレベーターやバリアフリーの改修に対する補助制度があるのではないか。大規模改修に対する補助制度を教育委員会サイドと財政サイドで調べてほしい。